



「私

にとつて不動産業とは、街に明かりを灯すことだと思ふんです」

と話す若田部さんが現在力を注ぐのは、市街地の空き店舗をお持ちの方と、開業する場所を探している方との橋渡し。

「そういう意味では、コロナ禍明けで、さあ何か始めよう！ と考える人が増えている今が、これ以上ない絶好のタイミング。ここで再び明かりが灯れば、人の往来ができ、交流が生まれていくんですよ」と街の活性化に意欲を高めています。

佐野らーめん予備校の代表でもある若田部さんは、相談を持ち掛けられればラーメン店に限らず、改善点を導き出して売り上げアップにつながる支援を行うことも。肩書きがたくさんあることについて「一つのことを続けていくのが良いのかもしれないけれど、好奇心もあり、頼まれたら嬉しく感じてしまう」そう

頼まれると嬉しいんです



▲ジャングルと化していた一角は、広場に



▲空き店舗を活用したコワーキングスペース

休みの日には軟式野球の審判や映画鑑賞などをして過ごしたり、最近では肉體改造を目指して筋トレにもはまったりしているとか。

これからやりたいことは、仕事で通用するくらいの英語・中国語力を身に付けること。

「縁があつた方とは、心地良いお付き合いをさせていただけるように仕事に取り組んでいきたいですね」と話してくださいました。(市民記者 小林春美)

キラリ話題の人

若田部 賢さん

有限会社グローバルアクションパートナーズ代表取締役
Co×Co Works 佐野駅チカ経営
グローバルゲストハウス経営
いもフライぽっぽや経営
佐野らーめん予備校代表



▲お問い合わせはこちら

ようこそ 市長室からこんにちは！

佐野の餃子って大きいものが多いですね。

住んでいると当たり前のことも、市外の方から見れば驚かれることがあります。餃子はまさしくその一つではないでしょうか。栃木県で餃子といえば宇都宮ですが、佐野ではその約3倍もある餃子を提供する店舗もあります。そこで本市のブランド大使やブランド姫などとPRする動画を作り、YouTubeで公開しました。そして、先月末までこのブランドに認証されている店舗と連携し、Twitterでつぶやいてもらうキャンペーンも行いました。市民の皆さんも「佐野餃子」を新名物としてPRしてもらえたらと思います。

そして、餃子を提供している佐野らーめん店でも新しい実証実験を行っております。県の「とちぎデジタルハブ」の一環として、市内にある佐野らーめん店の混雑状況をリアルタイムでデジタルマップ上に反映させる民



佐野市長
金子 裕

間技術を使った実証実験を、現在20店舗で行っております。マップにはこの20店を含む約90の佐野らーめん店や、約30の観光スポットも見ることができ、空いた時間で市内周遊にもつなげたいと考えております。



また、これから暑い季節がやってきます。本市も「暑いまち」として有名になりつつある中で、熱中症予防にも一役買ってくれるものと期待しております。

市民の皆さんもこまめな水分補給を行い、熱中症に気を付けてお過ごしください。



毎月朔日（毎月第1日）の早朝行事
唐沢山神社の朝参り

神社へのお参りは午前中の方が良いと聞いたことがあります、いつもより早起きして朝参りはいかがでしょうか。

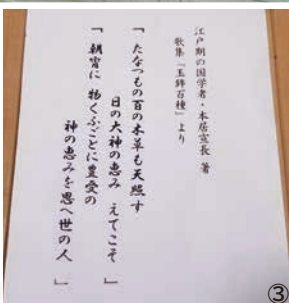
6時少し前に神社に到着。各々お参りしてから集合し、神社の方々のお話に耳を傾けました。

この日は神社で食前食後の祈りに使われているという本居宣長の和歌から、神の恵みと食物のお話でした。

厳かな雰囲気の中、朝参りは終了し、レストハウスに移動して、朝食後、解散しました。

参加されていた方にお話を伺ったところ、暗くて寒い冬の朝は大変だけれども、神社の周りや道中に四季を感じることができるので毎月楽しみにして参加されているそうです。

（市民記者 芝口明子）



- ①宮司のお話を伺っている様子
- ②レストハウスでの朝食会
- ③配布された資料の本居宣長の和歌

公園のシンボルツリーが植えられました。



来年3月末に開園予定！
高萩中央公園（仮称）植樹式

6月14日（水）、高萩中央公園（仮称）に国際ソロプチミスト佐野さまよりクスノキの寄付をいただき、公園のシンボルツリーとして、正面入口付近に植樹しました。

この公園は、高萩町にあり規模3.2ヘクタールを有する地区公園で、佐野新都市の新しいシンボルとして、また災害時の一時避難所となるように防災機能を有する公園として整備しています。

令和6年3月末開園予定となっていますので、もうしばらくお待ちください。

ゲームやクイズに挑戦！みんなで高得点を目指しました。



天気にも恵まれ盛大に開催♪
第19回佐野ウォークラリー大会

6月4日（日）、田沼小学校を発着点として、ウォークラリー大会が開催され、約250人の参加者が元気に歩き回りました。

「こみちワクワクコース」「ドキドキたんけんコース」の2コースに分かれ、グループ内で協力し合い、各チェックポイントでさまざまなゲームやクイズに挑戦しながらゴールを目指しました。

道が分からなくなったときには、みんなでコマ図を広げて順路を確認し、チェックポイントを見つけ「ここだ！ あった！」と家族や友人を笑顔で呼ぶ参加者の姿はとても楽しそうでした。